

脂質生化学研究会

会 報

1976年2月

日本脂質生化学研究会

(JCBL)

○ 会費納入のお願い

昭和51年度会費（¥2,000）を4月末までに振替にて御納入下さい。

または御送金には一人振替用紙一枚御使用下さい。

現金書留、現金納入は取扱いかねますので、必ず振替で願います。

なお、4月末日までに御送金が無い場合は予稿集をお送り出きませんので御了承下さい。それとともに、住所の変更もお知らせ下さい。

○ 事務取扱い場所の一時的変更

今般都合によりまして事務局の仕事の一部を一時的に下記に移しますので、予稿集関係の業務はそちらにお願いします。なお会費納入は従来通り東大医学部血清学教室で行います。

東京都板橋区加賀2-11-1

帝京大学医学部生化学教室

(03)-964-1211 内 2320, 2321

5月21日 総会

① 庶務
296

第18回研究会のお知らせ

① 第17回総会の決定により、第18回研究会は下記のとおり、東京で開催いたします。

期 日：昭和51年5月20日（木）

5月21日（金）

場 所：東京都目黒区上目黒2-19-18

千代田生命本社講堂

TEL (03) 719-5111

実行委員：児島英也氏（胃腸病院）

植田伸夫氏（帝京大医）

連絡先：東京都板橋区加賀2-11-1

帝京大学医学部生化学教室

植 田 伸 夫 氏

TEL (03) 964-1211 内2820, 2821

② 講演申込要領

講演の申込みは3月10日（水）迄に400字程度の講演要旨と、

申込者名を表記したハガキ（受付お知らせ紙）を下記にお送り下さい。

東京都板橋区加賀2-11-1

帝京大学医学部生化学教室

TEL (03) 964-1211 内2820, 2821

講演のお申込みにより、予稿集用の原稿用紙をお送りいたしますので、4月10日（土）必着にて、ご返送ください。原稿は、従来通り、図、表、文献を含めて1,488字×4枚に収まるように、黒インクで書いていただきますので、そのようにご計画ください。

予稿集の受領をもって、正式の講演申込みとさせていただきます。

予稿集は5月5～10日に発送を予定しております。

③ 研究会経費

参 加 費 2,000円

懇 親 会 費 1,000円 計3,000円

懇親会は20日夕刻を予定しております。できるだけ全員懇親会にご参加ください。夕食として十分な準備をいたしております。

尚、今回は夜泊に関するお世話はいたしませんので、ご了承ください。会場は、東横線・菅田地下鉄日比谷線・中目黒駅至近です。或いは、国電渋谷駅、恵比須駅よりバスの便が多数あります。

研究会のシンポジウムその他、ご意見がございましたら、至急、植田氏までご連絡ください。

④ 51年中の主要行事

2月 1日(月) 会報発送予定

会費納入受付

8月10日(水) 第18回研究会講演申込(締切日)

4月10日(土) 同 予稿集予稿受付 (締切日)

5月10日(月) 予稿集発送予定

5月20日(木) 第18回日本脂質生化学研究会

21日(金) 同上 研究会(総会中を含む)

12月25日(土) 52年度千田奨学金申込(締切日)

会 務 報 告

I 第17回日本脂質生化学研究会

第16回日本脂質生化学研究会総会の決定により昭和50年7月11日(金)、12日(土)の両日、川崎医科大学(倉敷市)において第17回研究会が行われた。なお安田会長が御病気のため欠席されたので舟橋幹事が代行された。

川崎医科大学の非常に立派な教室を2つお借りし、学生控室その他も利用させて戴いて、7月にもかゝらず快適な状況で立派な研究会を開くことが出来た。

参 加 者 190名

演 題 数 70題

なお懇親会は11日夜、同大学の大ホールで開催、川崎理事長も参加され、大学側の御馳走もあり、楽しい懇親会を持つことが出来た。100名以上出席されたが安田会長の御欠席が残念であった。川崎理事長はじめ大学側の御好意に厚く御礼申し上げます。

研究会参加費 2000円

懇 親 会 費 2000円

研究会の開催についての一切の世話をされた実行委員、山崎三省、日下喬史、市原宏介の三先生、および生化学教室の方々の絶大な御尽力にたいして厚く御礼申し上げます。

II 第17回日本脂質生化学研究会総会

7月10日(土)正午、同所において開催した。

1) 会長は安田守雄氏の重任を満場一致で可決した。(但し御病氣加療中なので、舟橋三郎氏に代行を御願いすることもある)

2) 会 務 報 告

① 新幹事に蔵内百治、武岡望、飯田静夫、児島英也、村松敏夫氏をすいせん、幹事は計47(含会長)

② 会 員 数 479名

既納者 312名

50年未納 111

49, 50年未納 56

③ 賛助会員 25社

既納 21

未納 4社

3) 会計報告

昭和51年度より会費を¥2,000とする事を提案し可決された。
¥2,000で赤字防止が出来、また広告収入によって本会会計も余裕が出来てきた。

4) 第18回研究会は東京で開催し、植田伸夫(帝京大)および児島英也(胃腸病院)の二幹事が担当される事になり、植田氏より挨拶があった。

5) 千田奨学金

第6回千田奨学金は下記1名の方に贈呈され、金額は10万円である。

野 沢 義 則 氏 (岐阜大・医・生化)

Tetrahymena 膜脂質の研究

III 幹 事 会

1) 7月11日正午・川崎医大において開催。

① 会 員 数, 事務報告

② 第18回研究会, 総会を東京で開催する事を承認

③ 幹事の追加

藪並百治 武内 望(以上 阪大医)

飯田静夫(東大・医) 児島英也(胃腸病院)

の4名をすいせんし、承認された。

2) 会費の値上げを提案、承認された(¥1,500→¥2,000)

IV 千田奨学金

50年度は上述のように野沢義則氏一人と決定した。なお審査員は山川、武富、永井(克)沼、今井の5幹事であった。

なお51年度の一人10万円8件以内とし、12月25日迄の申込について審査を行う事にしている。

V そ の 他

1) 本年は多数の外国人研究者の来日があり、それぞれその衝にあたられた方々は御多忙であったと思う。先づ8月に国際栄養学会が京都で開催された折、アメリカ油化学協会の重要メンバーである R.Reiser教授(A&M Univ. Texas) Rv H.kaunitz教授(Columbia Univ)氏来日された。

また同じく、Dr.G.A.Dhopeshwarkar(UCLA)が来日し、脳の不飽和脂肪酸合成のセミナーを行った。

10-28.Dr.L.M.G.Vangolde(Utrecht)も東大・医・でセミナーを行った。

1) Metabolic assymmetric renewal of phospholipids in intact rat erythrocytes.

2) Composition and biosynthesis of diacylphospholipid and Other plasmalogen analogs in some strictly anerobic bacteria

3) Biosynthesis of phosphatidyl Choline

11-15.C.C.Sweeley教授(Michigan州立大)が講演された。

Affinity chromatography of lysosomal hydrolases involved in metabolism of globotriglycosylceramide and N⁸-α-2-acetamamids-2-deoxygalactosyl-globotetraglycerylceramide(Forssman antigen)

11月5日 Dr.S.C.kinsky(Washington大学)のセミナーがあり、リボゾームによる免疫化学的研究の話があった。

11月8日 Dr.M.Kates 教授 (Ottawa 大学) が来日され、14日大阪、19日東京でセミナー開催、題は何れも Halophilic bacteria の菌体膜についてであった。

なお、2月に J.Polonovski 教授 (Paris 大学) が来日され、東京、京都、大阪で講演会がある予定 (原幹事担当)

また D.J.Hanahan 教授 (Texas, St. Antonio 大学) が2月に来日され約85日滞在されるがいづれ講演会などある予定 (斎藤国彦幹事担当)

9月はじめ K.Bloch 教授 (Harvard 大学) が来日され、(今井幹事担当)、ついで L.L.M.Van Deenen 教授 (Utrecht 大学) が来日される予定 (野島幹事担当)

2) 昭和51年7月末に Hamburg において第10回国際生化学会があり、ついで8月末 ISF (国際油脂会議) が Marseille で、さらに9月7~8日 I O B L が Paris で開催される。

3) 日本脂質生化学研究会事務局の変更。日本脂質生化学研究会事務局は永らく、東京大学医学部血清学教室にあったが、今般一時的に一部業務を帝京大学医学部生化学教室に移しました。

東京都板橋区加賀 2-11-1

帝京大学医学部生化学教室 (植田伸夫教授)

TEL 03-964-1211 内 2820, 2821

4) 本会会長、安田守雄先生は永らく東京都養育院に入院加療中だったが、12月25日無事退院され、自宅療養されることになった。

追記 その他、5月に Dr. L. M. Deluca (NIH) も来日する予定である。

(武藤泰敏会員担当)

昭和50年度決算及び昭和51年度予算

収入の部

(昭和50年12月1日現在)

項 目	昭 和 5 0 年 度		昭 和 5 1 年 度 予 算
	予 算	決 算	
正 会 員 会 費	600,000	581,160	800,000 (2,000×400人)
賛 助 会 員 会 費	800,000	250,000	250,000
予稿集売上げ等 (利子含む)	50,000	72,000	75,000 (2,500×30冊)
広 告 収 入	0	159,000	160,000
寄 付	100,000	9,586	0
繰 り 越 し	100,000	27,869	50,000
計	1,050,000	1,099,115	1,885,000

支出の部

項 目	昭 和 5 0 年 度		昭 和 5 1 年 度 予 算
	予 算	決 算	
会 報 印 刷 費	60,000	54,000	70,000
" 送 達 費	20,000	20,085	80,000
予稿集印刷費	650,000	889,020	980,000
" 送 達 費	40,000	87,710	50,000
研 究 会 費	100,000	0*	100,000
旅 費	0	680,000	50,000
事 務 費	80,000	858,000	105,000
予 備 費	100,000	0	0
	1,050,000	1,099,115	1,885,000

* 50年度研究会費は49年度中に支出し、49年度には寄付金があった為、これで決済した結果となり50年度には支出しなかった。

昭和50年度千田奨学金収支報告

昭和50年12月1日現在

収 入

昭和50年度より繰り越し	1,219,511
定期預金	980,687
普通預金	238,828
利子	67,865
計 ¥	1,286,879

支 出

千田奨学金(一人分)	100,000
事務費	21,000
計	¥ 121,000

残 額

¥ 1,165,879
定期預金 842,506
普通預金 323,373

賛助会員名簿

第一製薬, 味の素, 名糖産業, 塩野義製薬,
 藤沢薬品, 富山薬品, 武田薬品, 小野薬品,
 日本新薬, 大日本製薬, 雪印乳業, 日本凍結乾燥,
 大阪細菌研究所, 海外製薬, エーザイ, 東京田辺製薬,
 中山書店, 共立出版, 日本油脂(王子工場),
 東京化学同人, 日本ルセル, ヤクルト研究所, 資生堂(株)

山崎

山崎

山崎

20